



Engineering the extraordinary

エンジニアのマインドを持って
想像を超えるものを創り出します



Medtronic plc
本社：アイルランド、ダブリン

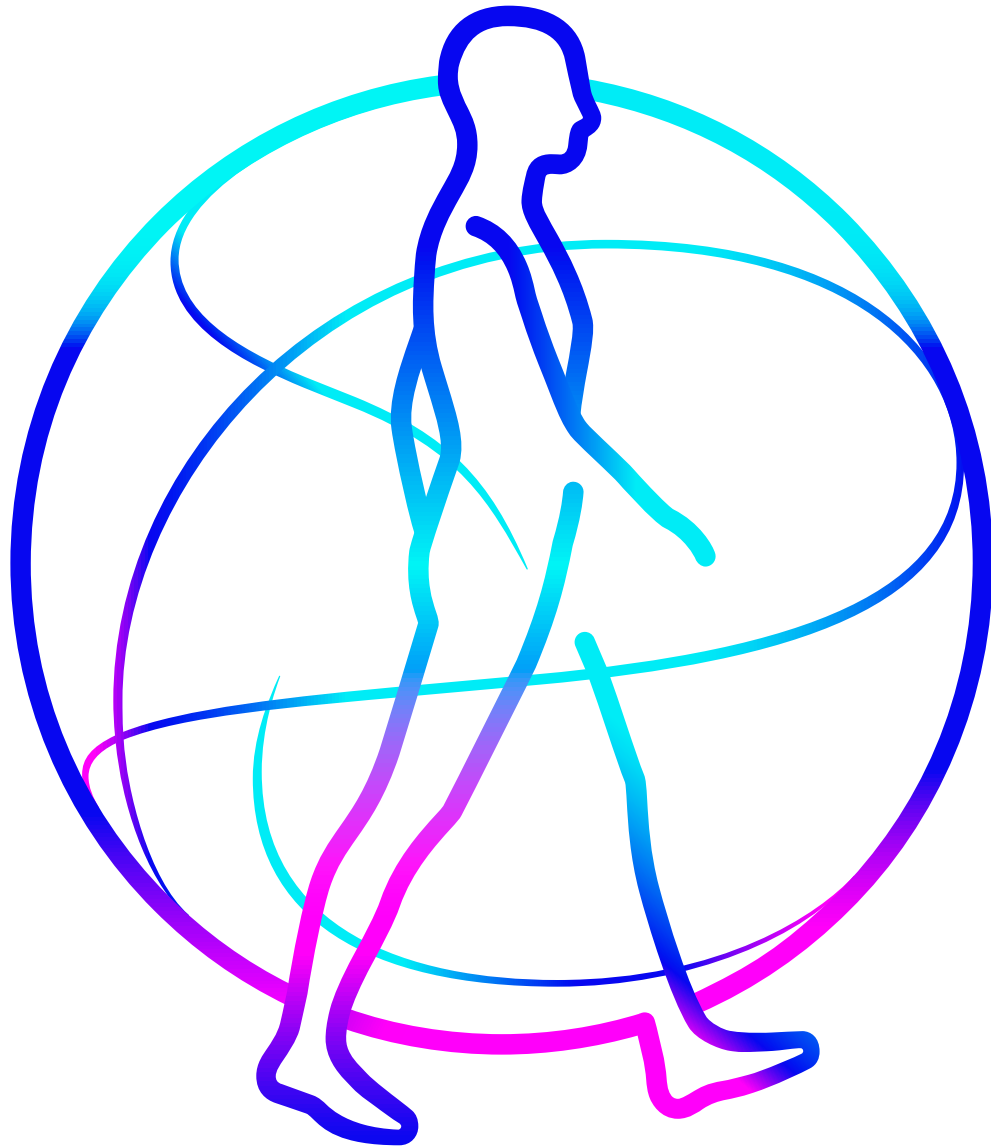
日本メドトロニック株式会社
メドトロニックソファモアダネック株式会社
コヴィディエンジャパン株式会社
本社：東京都港区港南1-2-70 品川シーズンテラス

[medtronic.co.jp](https://www.medtronic.co.jp)

会社案内

日本メドトロニック株式会社
メドトロニックソファモアダネック株式会社
コヴィディエンジャパン株式会社

人々の痛みをやわらげ、
健康を回復し、
生命を延ばす



私たちのミッション

1. 私たちは生体工学技術を応用し、
人々の痛みをやわらげ、健康を回復し、
生命を延ばす医療機器の研究開発、製造、
販売を通して人類の福祉に貢献します。
2. 私たちの強みと能力を最大限に発揮できる
生体工学技術の分野での発展に注力します。
3. 私たちは製品の品質と信頼性の向上に全力を注ぎます。
4. 私たちは適正な利益を得ます。
5. 私たちは社員一人ひとりの価値が認められるよう
雇用制度を確立します。
6. 私たちは企業として、
社会の良き一員であり続けるよう努力します。

共同創業者であるアール バッケンが
1960年に制定してから半世紀以上、
ミッションは私たちを導く道しるべです。

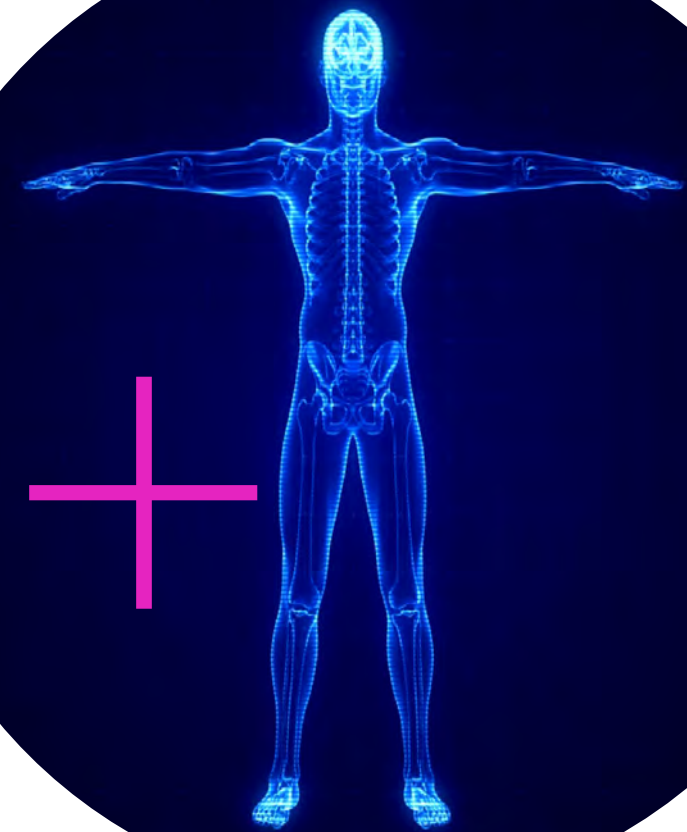
私たちは、1秒に2人の患者さんの生活を 毎時間、毎日、変え続けています

今日も世界のどこかで、年間7,800万人の患者さんが、
私たちの製品、サービス、そしてソリューションによって
意義のある生活を取り戻しています。
これは、1秒に2人の患者さんの健康回復に貢献していることになります。

医療機器という枠を超え 世界中の医療課題解決に向けて

私たちは、世界中の患者さんの生活を向上させる
ヘルスケアテクノロジーの開発に力を入れています。
なぜなら、テクノロジーが生活を変えることができると
信じているからです。

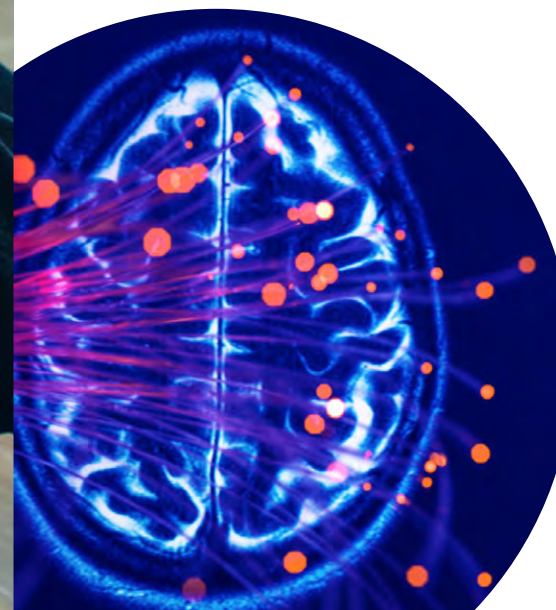
70+



人生を変えるようなテクノロジーで
70種類以上の健康課題に対する治療法を提供

人体への深い理解をもとに、
医療のイノベーションを加速させています

これまで70年以上に渡る
医療分野での経験、知識、そしてスケールが、
複雑な医療課題の迅速な解決につながっています。



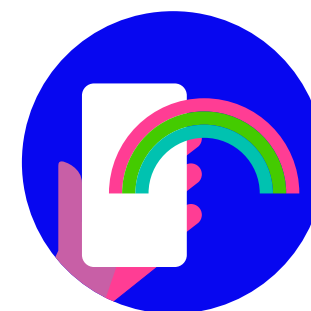


Engineering the extraordinary

私たちは、エンジニアのマインドを持って
想像を超えるものを創り出します

医療における世界中の課題に取り組んでいくためには、イノベーションだけでなく、さらにそれ以上のものが必要とされています。
私たちは、エンジニアのような、実用的で確固たる問題解決のための考え方をもち、想像を超える期待と行動、結果を追求していきます。

ヘルスケアのイノベーションに貢献するために
4つのコミットメントに注力しています

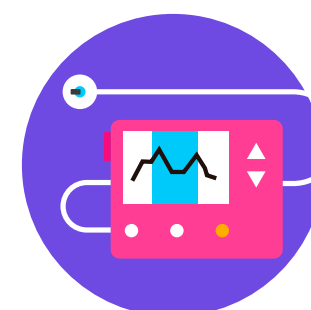


世の中により良いアウトカムを

私たちの努力を測るのに、アウトカム（結果）以上のものではありません。十分なサービスを受けていない地域にテクノロジーを導入し、地域社会におけるエクイティを阻害する要因を取り除き、私たちがサービスを提供している患者さんや医療システムについて深く理解して、すべての人にアウトカムを届けていきます。

人を第一に考えたエクスペリエンスを

患者さんのライフスタイルにうまく適応し、患者さんが好きなことの邪魔にならないテクノロジーは、共感から生まれます。私たちは、患者さんの心配をやわらげ、患者さん自身の手でコントロールできるような適応性のあるテクノロジーの開発に取り組んでいます。



インサイト（洞察）に基づく治療法

データから得られたインサイト（洞察）をもとに、治療法を調整し大幅に改善していきます。最先端のテクノロジーを駆使して、より多くの人々に高度な精度と予測可能性をもたらす手術支援ロボットや、1型糖尿病患者さんへの基礎インスリン投与自動化など、高度なケアをシンプルに実現します。

人生を変えるテクノロジー

テクノロジー、人体に関する深い理解、そして最先端の医学を融合させ、これまでにないソリューションを生み出しています。患者さんの回復までの時間を最小限に抑えるための低侵襲な外科的アプローチや、最小の心臓ペースメーカーの開発など、私たちの可能性に限界はありません。



すべては小さなガレージから始まった



すべては1949年、
ミネソタ州ミネアポリスの
小さなガレージから始まりました。



共同創業者であるアール バッケンは、
人類の福祉に積極的に貢献するという
大胆なアイデアを持っていました。



世界初の電池式体外型
ペースメーカーから始まり、
手術支援ロボットに至るまで、
私たちの目的は変わりません。



それは、私たちに想像を超えるものになるよう
鼓舞するものです。
いつかではなく、今日この時に。

イノベーションの歴史

*年代はグローバルのものです。



様々な疾患への取り組み -4つの領域-

メドトロニックでは製品ポートフォリオを4つに分け、さらにそれぞれの専門領域を担うオペレーティングユニットとして事業を展開しています。様々な疾患に対し、低侵襲な治療、患者さんの生活の質（QOL）の向上をめざした革新的な治療製品、サービス、そしてソリューションを提供しています。

カーディオバスキュラー

循環器領域

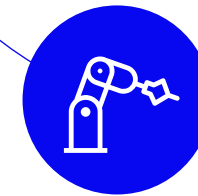
心臓ペースメーカやステントなどを中心とした治療、診断、ソリューションを提供しています。



メディカルサージカル

外科領域と低侵襲治療・診断領域

早期の診断、手術時間の短縮を通じて治療結果の向上を目指すソリューションを提供しています。



ニューロサイエンス

神経科学領域

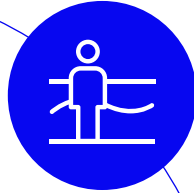
脳、痛み、脊椎などの領域の治療法、急性期治療などの医療ソリューションを提供しています。



ダイアビーツィス

糖尿病領域

日本初のハイブリッドクローズドループ（HCL）テクノロジーを搭載し、基礎インスリン注入量を自動調整するインスリンポンプや血糖変動の傾向を評価するリアルタイムCGM（持続グルコースモニタ）といった糖尿病管理のための血糖変動マネジメントを提案、提供しています。



医療分野のグローバルリーダーとして

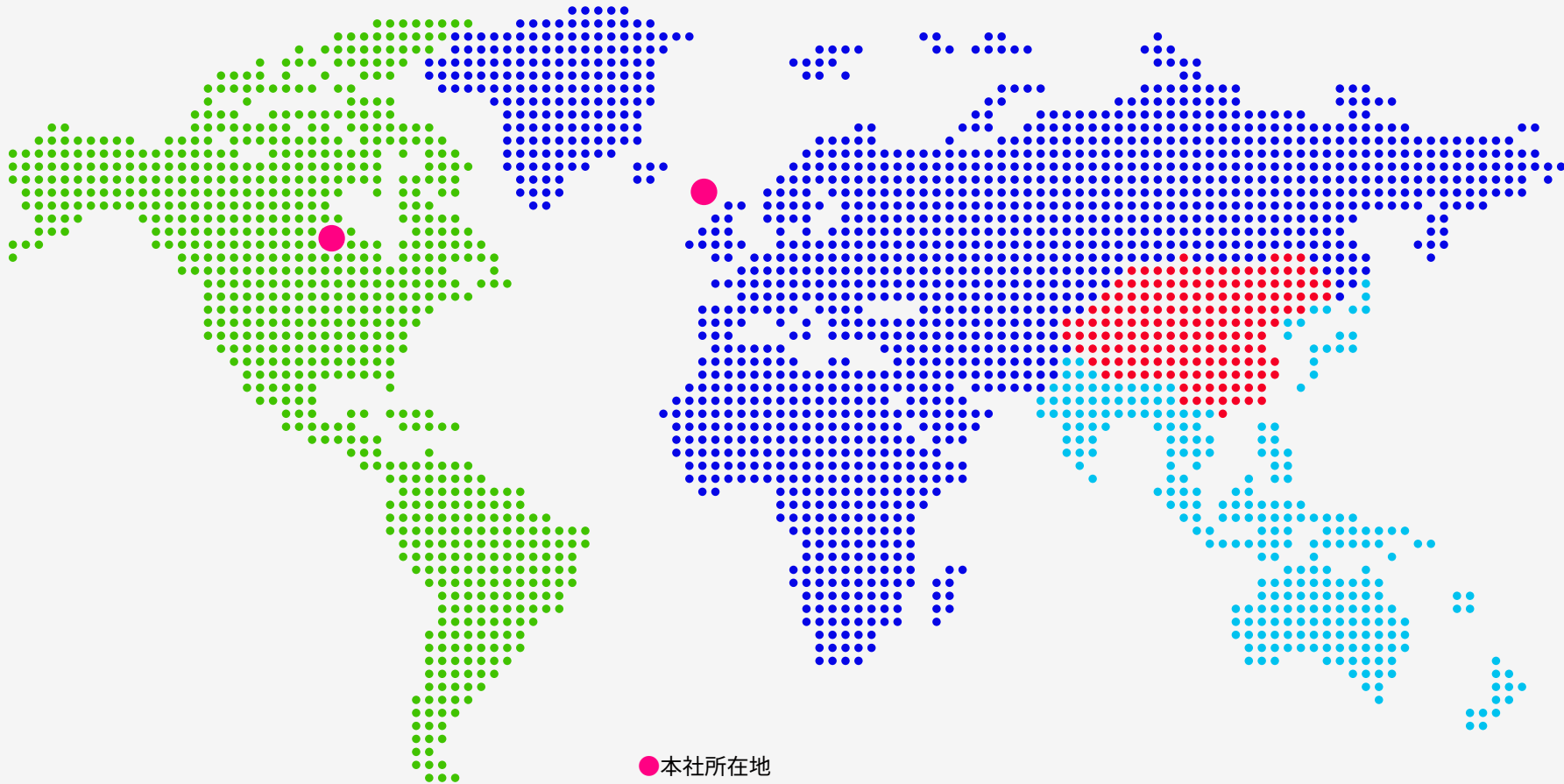
Our people

従業員数	科学者とエンジニアの人数	臨床研究者と医学研究者の人数	年間特許取得数	年間研究開発費*	年間臨床試験数*
95,000+	13,300+	3,000+	3,100+	27億ドル	191

* 2024年度 (弊社会計年度)

より多くの人に、より多くの場所で貢献するために

150	12	81	35
以上の国で事業を展開	流通拠点	製造拠点	研究開発拠点



● 本社所在地
オペレーション本部：米国ミネソタ州ミネアポリス
主たる業務執行機関：アイルランド、ダブリン

未来の世代のために より良い、より健康的な生活を実現するために

痛みをやわらげ、健康を回復し、生命を延ばすというミッションを持つ私たちにとって、革新的なヘルスケアテクノロジーを開発するだけでなく、地域社会へ貢献していくことが重要だと考えています。

- ヘルスケアテクノロジーへのアクセスを加速

2025年度*までに年間8,500万人の患者さんの生活改善に貢献

- インクルージョン、ダイバーシティ、エクイティの促進

2026年度*末までにマネージャー以上の役職に就いている女性の割合をグローバルで45%に到達

- 地球を守るために

2030年度*までに事業活動において100%カーボンニュートラルを実現

*弊社会計年度

Fortune
世界を変える企業
2022

Fast Company
世界を変えるアイデア
2024

2023 メドテック
ブレークスルー
アワード



Patient Story

1型糖尿病は私の個性、病気を隠さず挑戦し続けたい

大学1年の夏に東日本大震災復興支援団体のボランティア活動に参加していた時、出発前に体調を崩して受けた尿検査の糖の数値が異常に高く「いますぐ大学病院を受診するように」と現地に連絡が入り、すぐに帰京して病院を受診したところ、1型糖尿病と診断されました。

現在の医療では治らない病気で、生涯にわたってインスリン治療が必要であると聞き、人生で初めて絶望し生き方を見失いました。そんな私の希望となったのが、同じ病気を抱えながら夢を叶え、活躍する方々の存在でした。

病気であっても、挑戦して努力を続ければ夢を叶えることができる。そう気持ちを切り替えたものの、当時は1型糖尿病に対する認知が低く、大学では周囲の偏見の目が気になり、人目を避けて血糖値測定やインスリン注射をしていました。転機となったのは、留学先の米国で様々な人種や文化、多様性に触れたことで、1型糖尿病を自分の個性として受け入れることができたのです。帰国後に始めたインスリンポンプ治療は私にとって小さな挑戦でしたが、人の目を全く気にせず利用でき、痛みも少なく、血糖値コントロールもポンプがサポートしてくれるので、趣味の登山やランニングも思い切り楽しめます。

現在は、チャリティー活動はじめ様々なチャレンジをしています。今後も私にしかできないことに挑戦し続けていきたいです。ハンディキャップがあっても夢や目標は実現できることを証明します。

星南 (SENA) さん

モデル、ライフクリエイター

支えられる側から、クローン病に悩む人を支える側へ

小4の終わり頃から、食事量は減らしていないのに体重が減り、風邪の症状はないのに38度超の発熱や、学校から帰るとたた寝してしまう日々が続きました。さらに腹痛や血便など症状も出てきたため、小児科を受診したところ、3つ目の病院でクローン病と診断されました。

そのまま入院し、厳密な食事療法や薬物療法などの治療を約3カ月間受けました。10歳で発症したこともあり、家族や医療従事者の判断で、退院直前まで病名は伝えられませんでした。おかげで私自身は病気をあまり意識せず、悲観的に捉えずに生きてこられたのでとても感謝しています。幸いそれ以降は寛解状態が続いています。

カプセル内視鏡は大学入学後に医師の紹介で利用しました。検査中の苦勞も軽いと感じますし自由に動けるので、それ以降年に1回程度受けています。定期的に受ける検査なので、心身の負担が軽いのはありがたいです。

私が本当の意味で病気と向き合えたのは、診断から10年程経ち、母が記録してくれていた治療ノートを見たことがきっかけです。栄養学を学ぼうと思ったのも、患者会や仕事を通して人の役に立ちたいと思ったのも、共通しているのは病気の経験がきっかけということです。「病気になってしまった人生」ではなく、「たまたま病気のオプションが付いた私の人生」を歩みながら、今後も同じ病気を持つ人を支える活動に注力していきたいです。

奥野 真由さん

会社員

日本のメトロニック

本社 東京
物流拠点 東京・大阪・静岡など
営業拠点 全国各地
分析センター 東京

社員数 約 2,500 人

※2023年3月時点

3 法人

日本メトロニック株式会社
メトロニックソファモアダネック株式会社
コヴィディエンジャパン株式会社

4 つの疾患治療領域

循環器領域
外科領域と低侵襲治療・診断領域
神経科学領域
糖尿病領域



メトロニック イノベーションセンター

弊社製品を安全かつ適正に使用いただくため、医療従事者を対象に医療現場のニーズに合った教育プログラムを提供、多様化する手技の浸透を目指しています。より効率的かつ効果的に最新の技術や知識、情報を得ていただけるよう、独自開発したシミュレータを活用したハンズオントレーニングのWeb配信や、CG技術を駆使した展示を行っています。

平均プログラム数: 約2,000/年
医療従事者平均参加人数: 約5,000人/年

メトロニック イノベーションセンターの目指す先

- ・シミュレーションを活用したトレーニングを体験できる最新設備を完備した多分野をカバーする世界標準の教育・トレーニング施設
- ・医療技術の共同革新を促進するボーダレスな医療革新プラットフォームを提供
- ・高度医療技術と治療への適用に対する一般認知度の向上を図る

施設紹介

トレーニング設備はもちろん、多彩な音響映像システムやカンファレンスシステムを整備テクノロジーを活用したイノベーティブなトレーニングプログラムを提供



Inclusion Diversity & Equity

社員の多様性と社員が実績と能力による処遇・報奨、キャリアアップの機会を平等に得られる環境づくりに取り組んでいます

Medtronic Women's Network

- 男女共同参画を推進し、様々なライフイベントとキャリア開発の両立を目指し、互いに刺激し、成長しあう社員グループ
- 5つのテーマ、「ネットワーキング」「メンタリング」「プロフェッショナルデベロップメント」「ウェルネス」「Men Advocating Equity (MAE)」に沿った活動を展開
- 男女のバランスの取れた職場を推進する男性社員組織も活動



Awareness Benefiting Leadership and Employees about Disabilities (ABLED エイブルド)

- 障がいに対する理解を深める社員グループで2021年9月に設立
- 多様な人材が持つあらゆる魅力を尊重し一人ひとりが自分らしく活躍できる場を目指す
- 包括性、多様性、公正性のある職場環境を構築
- 活発な情報交換のため他社との交流会や大学での講演会を開催



PRIDE Network

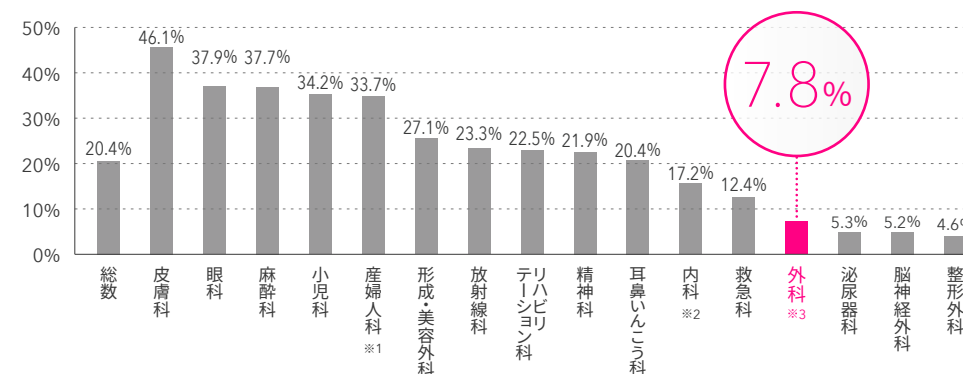
- LGBTQ+に対する理解を深める社員グループで2023年11月に設立
- メドトロニックのLGBTQ+の社員及びその家族とつながりを築き、地位を向上し、サポートすることを目的とする
- インクルージョンとアクセプタンスの文化を醸成することをビジョンに掲げる
- 社内講演会、研修や勉強会を開催し、全員が自分らしさを発揮できる職場環境づくりに貢献する



医療従事者のダイバーシティを応援

診療科別女性医師の割合

こちらの図にあるように、日本における女性医師の比率はもともと20%といわれている中で、特に外科は7%と非常に低い状況です。理由は様々ですが、やはり緊急対応の必要性、手術に際する長い拘束時間、男性中心の組織であることなどがあげられることもあります。そしてキャリアとしても多くの経験を積める時期に、女性としてのライフイベント（結婚、出産）を迎える方も多く、キャリア形成とライフイベントとのバランスが難しい外科医師の方もいらっしゃいます。



出典：厚生労働省
女性医師キャリア支援モデル普及推進事業の成果と今後の取組について
<https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-10801000-Iseikyoku-Soumuka/0000197435.pdf>を加工して作成

※1 産婦人科、産科、婦人科
※2 内科、呼吸器、循環器、消化器、腎臓、糖尿病、血液、感染症、アレルギー、リウマチ、心療内科、神経内科
※3 外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、気管食道外科、消化器外科、肛門外科、小児外科

出典：平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査

女性医師の活躍支援

2015年4月に女性外科系医師応援プロジェクトを発足。さらに消化器外科女性医師の活躍を応援する会（AEGIS-Women：イージスウィメン）」とのコラボレーションを通じて女性医師の育成支援に注力。2021年には育児と医師のスキルアップの両立を目指すことを目的としたイクドクセミナーを開催。対象は育児中及びその予定のある産婦人科医で、メドトロニックが“腹腔鏡手術”と“キャリア形成”について一緒に学ぶ仲間と場を提供し、産科婦人科内視鏡技術認定医取得をサポートするセミナーを実施。メドトロニックはこれらの活動を通じて女性外科系医師の活躍を応援しています。



Master Class for AEGIS-Women (2018 / 2019)

2日間にわたる業界初の託児所付き
トレーニングセッションを
メドトロニック イノベーションセンターにて開催

自分らしい働き方

Find your own work style



Hybrid workplace

メドトロニックでは、社員一人ひとりが最適化したワークスタイルを取り入れられるよう、自宅、または自宅と同等のセキュリティと生産性が確保できる場所であれば、全国どこからでもテレワークをすることが可能です。固定の通勤費を廃止し、交通費は実費を支給しています。

Our office

リモートワークが定着したなか、オフィスはよりイノベーションを加速させる空間として存在しています。執務エリアはカジュアルなミーティングやコラボレーション業務も可能な「マルチパーパスワークエリア」と効率的に個人作業に取り組める「フォーカスエリア」のゾーンに分け、その日の業務に合わせて座席を選択することができます。



自分らしい働き方をサポート

フレックスのコアタイム廃止

これまでのフレックスタイム制度を拡充してコアタイムを廃止し、午前5時から午後10時までの間いつでも就業可能に。



育児費用サポート拡大

小学3年生までの子供を養育し配偶者が就労している、契約社員を含む全ての社員に、最大年間36万円の費用補助。



育休早期復職支援プログラム

育休を取得した女性がキャリアを中断することなく、早期に復職できるよう経済的な負担を軽減する制度。出産後6ヶ月以内に職場復帰した女性社員へ復職日の属する月から子どもが1歳の誕生日を迎える月まで10万円／月を支給。



フレキシブル社員制度

本人の希望に応じて働く時間を選べる制度。1日の勤務時間は最短5時間まで、勤務日数を最短週3日までに。



Family care leave

家族に介護が必要になった場合や養子縁組などに6週間取得できる休暇制度。



PRIDEパートナーシップ制度

同性・異性を問わずパートナーを法律上の配偶者と同等に扱い、社内の全ての制度がパートナーにも適用。また、働く上でのさまざまな悩みをLGBTQ+に関する専門の窓口へ匿名で相談可能。





働きがいのある企業

2025年版「働きがいのある会社」認定において、日本のメトロニックは「働きがい認定企業」に認定されました。世界60カ国以上で社員意識調査を行う Great Place to Work® Institute Japanが実施する本調査は、組織の「働きがい」の現状を明らかにします。社員が匿名で回答したアンケートの結果、同社が定めるベストカンパニーの基準を満たすスコアとなり、認定を受けることができました。



「PRIDE指標2024」にて最高位「ゴールド」を受賞

日本のメトロニックは、LGBTQ+の多様性・包括性を支援する取り組みが評価され、日本における「PRIDE指標2024」の最高位「ゴールド」を受賞しました。これはすべての社員が安心して働ける職場づくりを目指す当社の姿勢を示すものであり、引き続き、誰もが尊重され、活動できる環境の整備に努めてまいります。



日本における社会貢献

ミッション第6条「社会の良き一員であり続ける」にちなみ、毎年6月に全世界で社員がボランティア活動を行う取り組みを2009年より実施しています。日本では延べ885名の社員がボランティア活動に参加し、その活動時間は約1,131時間を超えました。(2023年実績) 地域で社外の方々とはコラボレーションした清掃活動や療養中の子どもたちと家族への支援活動やグッズ作成、アジアの子どもたちへの絵本贈呈などを行いました。なお、ボランティアへの積極的な参加を推奨するため、年間のうち1日をボランティア休暇として設けています。

毎年6月はボランティア
「プロジェクト6」



デジタル先進技術を取り入れ 進化し続ける医療従事者向けトレーニング

モバイルトレーニング ラボ (MTL)

- 「トレーニング施設が医療従事者の元に出向く」発想から生まれた、実践的なトレーニングに対応するトラック型の移動式ラボです。
- アジア初、X線透視下でトレーニングが可能という特徴を持ち、ペースメーカ植え込みなどの不整脈治療、血管内治療や脊椎領域の手術トレーニングに活用できます。
- 神奈川県川崎市に位置するメドトロニックイノベーションセンターと遠隔で繋ぐことができ、MTLにいるトレーニング受講者は、センターにいるエキスパートの医師から遠隔でトレーニングを受けることができます。



未知のものに大胆に答えを見つけ出す。
そして、答えを行動に変えていく。
これが私たちの約束です。
私たちはエンジニアのマインドを持って
想像を超えるものを創り出します。

MR Anatomy

- コンピューター断層撮影装置 (CT) で撮影した肺の構造を複合現実 (MR) 技術で観察できる医療従事者向けのトレーニングシステムです。
- 近年、特に肺がん手術では、区域切除と呼ばれるより小さく腫瘍を取り除く手技が増加しており、それに伴い医療従事者による更なる精緻な肺の構造の理解が求められています。本システムは、現実世界に高精細な実寸大の肺の3D画像を表示し、臓器や血管、病変の位置関係など、解剖学的構造の理解を深めることで、医療現場の教育・トレーニングの質の向上を目指しています。
- キヤノン株式会社、キヤノンITソリューションズ株式会社、ザイオソフト株式会社と連携して提供しています。



セミナーやトレーニングが続々と進化

- Medtronic Digital (アプリ) の展開開始
- 新しい手技習得や難易度の高い手術の導入時に役立つ「オンラインハンズオンセミナー」を実施
- VRを取り入れたリモートトレーニングの展開

